

平成22年度 財団法人 日本体育協会

公認スポーツ指導者養成講座

共通科目Ⅰ・専門科目

(通信講座)

募集要項



日本体育協会は「Sports for all (みんなでスポーツを！)」の標語のもと、広く国民に「スポーツの素晴らしさ、楽しさ」を呼びかけ、スポーツ実践の機運を醸成するとともに、環境の整備を図り、国民一人ひとりの楽しく安全なスポーツ活動をサポートしていくことを使命としています。

スポーツは、豊かで活力ある「生活／暮らし」を送るために欠かせない、人間にとって不可欠な文化であり、スポーツ活動の実践はすべての人にとっての基本的な権利であると言えます。

日本体育協会では、国民がそれぞれのスポーツへの関わり方に応じて、「安全で、正しく、楽しいスポーツ」ができるよう、年齢、技能レベルや志向に対応できる指導能力の高い指導者を「公認スポーツ指導者制度」に基づき養成・認定しています。

スポーツ指導者養成講座（指導員養成講座）は、「公認スポーツ指導者制度」における「共通科目Ⅰ」と「専門科目」により構成されています。それぞれに合格すると指導員として認定されます。

また、「共通科目Ⅰ」は通信講座で学習します。全国均一的に正しい知識を学べ、お仕事のかたわらボランティアとして指導活動されている方々にも受講していただけるよう、広域通信教育で実績のある「学校法人NHK学園」と提携し、ご自宅で自由な時間に学習できるスタイルが実現したものです。本講座に合格すると「共通科目Ⅰ」修了者として恒久的に有効な修了証が発行されます。

この講座を通じ、より多くの方が指導者資格を取得され、我が国の地域スポーツ振興の担い手となってくださることを願ってやみません。

財団法人 日本体育協会

通信講座提携： NHK学園

募 集 要 項

受 講 条 件

受講する年の4月1日現在、満18歳以上の方

※競技によって別途条件を定めている場合があります。

受 講 申 込 期 間

平成22年6月1日（火）～30日（水）

※競技によっては申込期間が異なる場合がありますので、必ずご確認ください。

受 講 申 込 方 法

別添の「受講申込書」に必要事項を記入の上、専門科目を受講する都道府県体育協会もしくは、中央競技団体にお申込みください（※専門科目免除の方につきましてはお住まいの都道府県体育協会にお申込み下さい）。なお、共通科目Ⅰ（通信講座）または専門科目講習・試験の免除については「受講申込書」に免除を証明できる資格登録証または修了証のコピーが必要となりますので、注意事項をよくお読みください。

※専門科目の養成のない競技は、受講申込ができないので、注意すること。

※本講習会の受講有効期限内に他の本会公認資格の受講はできないため注意すること。また他の本会公認資格を受講中の場合も、受講できません。

受 講 料

■「共通科目Ⅰ」通信講座

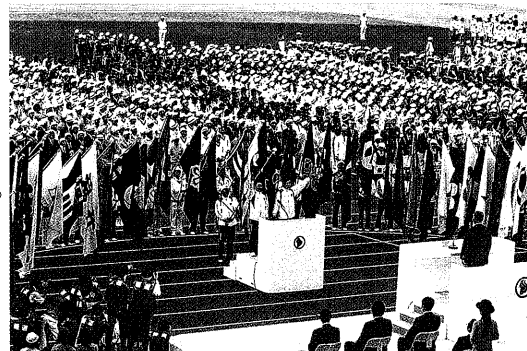
〈受講期間〉9～11月の3か月 〈受講料〉21,000円（税込）

※受講料の支払先はNHK学園となります。支払い方法など詳しくは下記をご覧ください。

■専門科目

〈受講料〉14,700円（税込）

※受講料の支払先は各「専門科目」事業実施団体となります。詳しくは各「専門科目」事業実施団体に問い合わせください。



「共通科目Ⅰ」通信講座について

■「受講申込書」は、日本体育協会において受講審査（免除申請審査）され、その後8月下旬頃にNHK学園から「教材」と「通信講座受講料払込用紙」が届きます。受講料は最寄りの郵便局・銀行・コンビニエンスストアで10日以内に払い込みください（支払による一括払いのみ。クレジットカード、分割払いのご利用はできません）。入金確認後、受講者として決定いたします（一旦入金された受講料はお返しできません）。

■通信講座では、学習の成果を3回の課題提出により検定し、可否を判定します。検定結果は1月頃に「検定成績通知表」で発表します。合格者には「共通科目Ⅰ修了証明書」を送付します。不合格者は1回に限り「追試」を受けることができます。

免除申請された方には、教材等は届きません。

日 程	概 要	留 意 点
8月下旬	教 材 発 送	- 教材が届きましたら、全て揃っているか、ご確認ください。 - 教材到着日は地域によって多少ばらつきがあります。9月に入っても教材が届かない場合は、NHK学園までご連絡ください。
9月1日	学 習 開 始	受講期間は9月1日から11月30日までの3か月間となります。
9月30日	第1回課題解答用紙提出締切日	「消印有効」とさせていただきます。
10月30日	第2回課題解答用紙提出締切日	「消印有効」とさせていただきます。
11月30日	第3回課題解答用紙提出締切日	「消印有効」とさせていただきます。
平成23年 1月頃	検 定 成 績 通 知	- 合格者には「共通科目Ⅰ修了証明書」を同封します。 - 不合格者には「追試課題」を同封しますので、再度取り組んでください。3回分の課題提出がなされなかった方は、「追試」を受けられませんのでご注意ください。

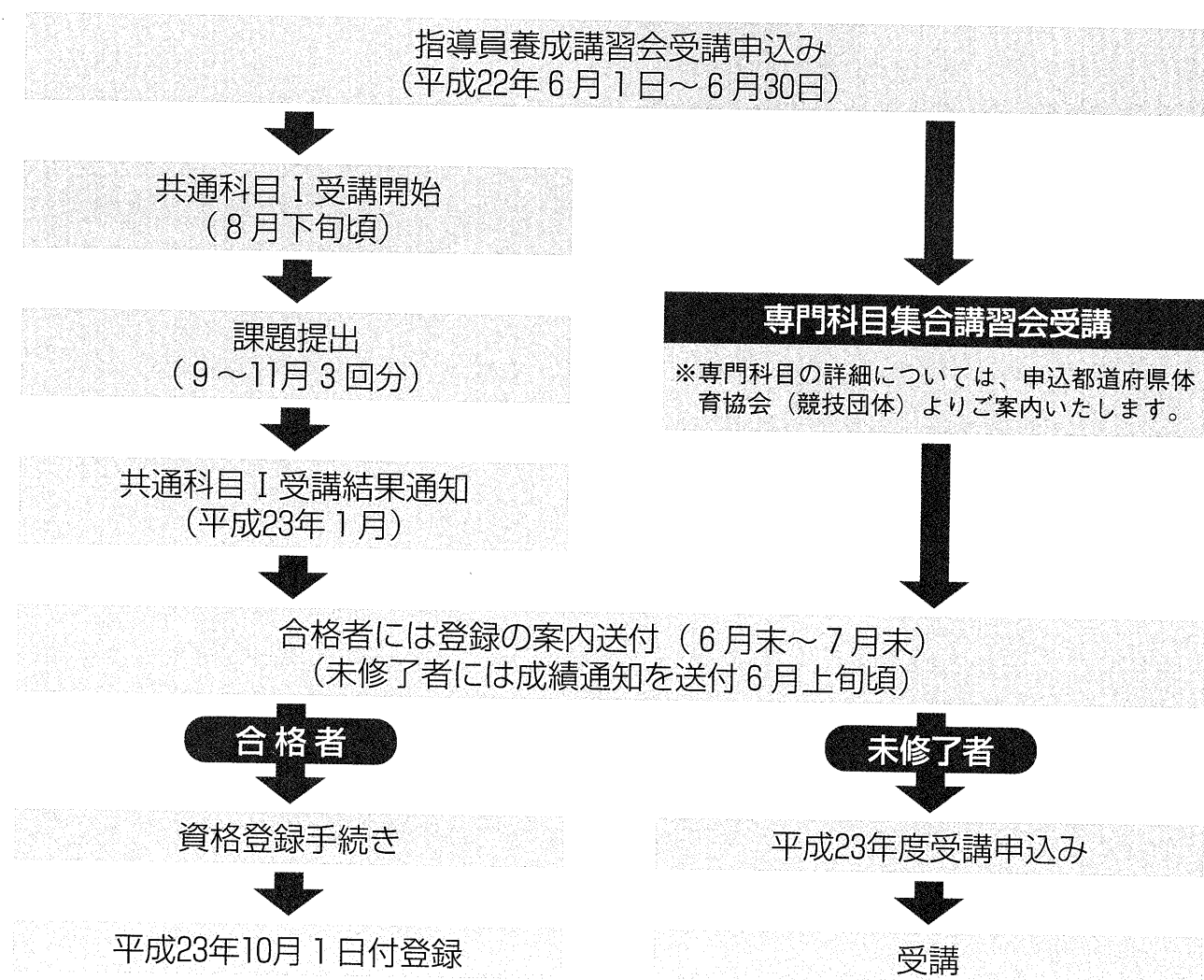
「共通科目Ⅰ」の合格は、恒久的に有効です。

指導員養成講習会の共通科目を修了されますと「公認スポーツ指導者制度 共通科目カリキュラム」における「共通科目Ⅰ」を修了されたこととみなされます。

またこの「共通科目Ⅰ」合格は恒久的に有効ですので、今後他の資格を受講される際には、「共通科目Ⅰ」の受講は免除されることとなります（表参照）。

資 格	共通Ⅰ	共通Ⅱ	共通Ⅲ	共通Ⅳ
スポーツリーダー	○			
指導員	○			
上級指導員	○	○		
コーチ	○	○	○	
上級コーチ	○	○	○	○
教師	○	○	○	
上級教師	○	○	○	○
ジュニアスポーツ指導員	○			
スポーツプログラマー	○	○		
アスレティックトレーナー	○	○	○	
アシスタントマネジャー	○			
クラブマネジャー	○			
スポーツ栄養士	○	○	○	

受講申込みから資格取得まで



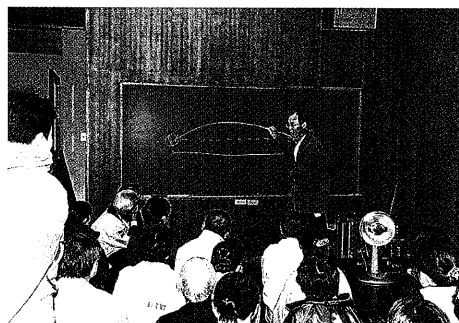
「資格の認定」および「登録」について

- ・「登録申請のご案内」を送付いたしますので、登録申請案内に従って手続きをしてください。登録手続きを行いませんと、資格は付与されません。
- ・なお「登録証」はクレジット機能付きカードになりますので、「登録申請書」と「クレジットカード申込書」が同一の用紙となっております。
- ・登録が完了すると、10月1日付けで「指導員」として認定され、「認定証」および「登録証」が交付されます。
- ・登録者には別途、情報誌「指導者のためのスポーツジャーナル（年4回）」と「指導者必携書」が送られます。
- ・指導者としての登録有効期限は4年間となります。資格を更新する場合には、有効期限の6ヶ月前までに日本体育協会または当該中央競技団体の定める研修会を受ける必要があります。
- ・過去に何らかの本会公認スポーツ指導者資格を取得し、現在その資格が有効期限切れになっている場合、本養成講習会を修了しても登録管理システム上で有効期限切れ者としてデータが保存されており、登録申請書を送付できないことがあるため、その場合は申し出てください。

登録料について

- ・初回登録時の登録料 13,000円（4年間）
- ・4年後の更新時の登録料 10,000円（4年間）

※これら基本登録料の他に、競技団体登録料が別途定められている競技があります。

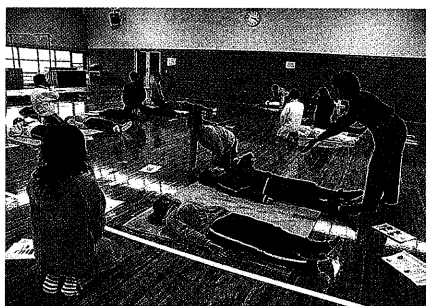


「受講免除」について

下記免除を申請される方は、「受講申込書」に必要事項を記載の上、必要書類を添付してください。
詳細は「受講申込書」をご覧ください（免除の場合、受講料は不要です）。

「共通科目Ⅰ」通信講座免除の対象

- ① 指導員・上級指導員
- ② コーチ・上級コーチ
- ③ 教師・上級教師
- ④ ジュニアスポーツ指導員
- ⑤ スポーツプログラマー
- ⑥ フィットネストレーナー
- ⑦ アスレティックトレーナー
- ⑧ アシスタントマネジャー
- ⑨ クラブマネジャー
- ⑩ スポーツ栄養士
- ⑪ レクリエーションコーディネーター
- ⑫ 野外活動指導者（ディレクター1級）
- ⑬ 健康運動指導士
- ⑭ 免除適応コース共通科目修了証明書取得者
- ⑮ スポーツリーダー
- ⑯ スポーツ少年団「認定員」
- ⑰ 一部の免除適応コース承認校（大学）を卒業
（※詳細は本会HPにて確認）



（※①～⑩、⑮は日本体育協会公認資格です。）

「指導員 専門科目」免除申請

- ① 財日本水泳連盟基礎水泳指導員
- ② 財全日本スキー連盟準指導員・指導員
- ③ 財日本テニス協会普及員
- ④ 財日本セーリング連盟アシスタント指導員
- ⑤ 財日本バレーボール協会専門科目修了者
- ⑥ 財日本体操協会一般体操指導員
- ⑦ 財日本バスケットボール協会JBA公認コーチ
- ⑧ 財日本ソフトボール協会準指導員
- ⑨ 財全日本剣道連盟社会体育指導員
- ⑩ 財日本ラグビーフットボール協会準指導員
- ⑪ 社日本山岳協会専門科目修了者
- ⑫ 社日本銃剣道連盟ブロック指導員
- ⑬ 財全日本ボウリング協会指導員・第1種審判員
- ⑭ 財日本ゲートボール連合準指導員
- ⑮ 社日本パワーリフティング協会公認準指導員
- ⑯ 社日本グラウンド・ゴルフ協会1級普及指導員（マスター）
- ⑰ 社日本トライアスロン連合公認中級指導者
- ⑱ 財社会スポーツセンター認定スクーバ・ダイビング指導員
- ⑲ 財全日本弓道連盟専門科目修了者
- ⑳ 財全日本なぎなた連盟錬士、教士、範士
- ㉑ （一財）日本バウンドテニス協会専門科目修了審査証明書を有する者

「共通科目Ⅰ」通信講座 合格条件

3回の課題提出期限を守って提出すること

第1回 9月30日まで

第2回 10月30日まで

第3回 11月30日まで



3回の合計出題数「100問」の内、60問以上が正答であること

カリキュラム

●文化としてのスポーツ

- ・スポーツの概念と歴史
- ・文化としてのスポーツ

●指導者の役割

- ・スポーツ指導者とは
- ・指導者の心構え・視点
- ・競技者育成プログラムの理念

●トレーニング論Ⅰ

- ・体力とは
- ・トレーニングの進め方
- ・種類

●スポーツ指導者として必要な医学的知識Ⅰ

- ・スポーツと健康
- ・スポーツ活動中に多いケガ・病気
- ・応急処置

●スポーツと栄養

●指導計画と安全管理

- ・指導計画のたて方
- ・スポーツ活動と安全管理

●ジュニア期のスポーツ

- ・身体的特徴・心理的特徴
- ・発育発達期のスポーツプログラム

●地域におけるスポーツ振興

- ・振興対策と行政のかかわり
- ・スポーツクラブの役割

●その他

- ・指導者制度について
- ・指導者育成推進計画について

「専門科目講習会」について

- ・「指導員」資格を取得する場合の「専門科目講習会」は40時間以上となります。
- ・「専門科目講習会」については、事業実施団体よりそれぞれ別途、受講案内が送られます。
また専門科目の判定結果については、事業実施団体に問い合せてください。
- ・専門科目講習会の受講有効期限は4年間です。

